

誤

表3-1 小児肺炎における頻度の高い病原微生物とその特徴

年 齢		病原微生物	特 徴
0～3か月	非細菌性	<i>Chlamydia trachomatis</i> RS virus	無熱，結膜炎の合併，好酸球増多 細気管支炎
	細菌性	B群レンサ球菌（GBS） 黄色ブドウ球菌	敗血症の一部として，髄膜炎とともに合併 Pneumatocele，膿胸
4か月～5歳	非細菌性	RS virus parainfluenza virus influenza virus adenovirus	細気管支炎，冬季に好発，基礎疾患がある場合重症化 クループ症候群 二峰性の発熱，白血球減少，細菌二次感染による肺炎 adenovirus type 7の場合重症化しやすい
	細菌性	インフルエンザ菌 肺炎球菌	細菌性髄膜炎を合併，大葉性／区域性肺炎などのパターンがある 大葉性肺炎
6歳以上	非細菌性	<i>Mycoplasma pneumoniae</i> <i>Chlamydia pneumoniae</i> influenza virus	赤沈値の亢進，CRP軽度上昇，臨床症状に比べ聴診所見に乏しい 長引く咳嗽，検査所見はマイコプラズマとウイルス感染症の中間 細菌二次感染による肺炎
	細菌性	肺炎球菌	大葉性肺炎

正

表3-1 小児肺炎における頻度の高い病原微生物とその特徴

年 齢		病原微生物	特 徴
0～3か月	非細菌性	RS virus	細気管支炎
	細菌性	B群レンサ球菌（GBS） 黄色ブドウ球菌 <i>Chlamydia trachomatis</i>	敗血症の一部として，髄膜炎とともに合併 Pneumatocele，膿胸 無熱，結膜炎の合併，好酸球増多
4か月～5歳	非細菌性	RS virus parainfluenza virus influenza virus adenovirus	細気管支炎，冬季に好発，基礎疾患がある場合重症化 クループ症候群 二峰性の発熱，白血球減少，細菌二次感染による肺炎 adenovirus type 7の場合重症化しやすい
	細菌性	インフルエンザ菌 肺炎球菌	細菌性髄膜炎を合併，大葉性／区域性肺炎などのパターンがある 大葉性肺炎
6歳以上	非細菌性	influenza virus	細菌二次感染による肺炎
	細菌性	肺炎球菌 <i>Mycoplasma pneumoniae</i> <i>Chlamydia pneumoniae</i>	大葉性肺炎 赤沈値の亢進，CRP軽度上昇，臨床症状に比べ聴診所見に乏しい 長引く咳嗽，検査所見はマイコプラズマとウイルス感染症の中間